

科目名	異文化コミュニケーションⅡ		担当者名	中島敬子(ナカジマケイコ)	
開講年次	2	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	選択	単位数	2
ナンバリング	D2072	該当DP	DP1,DP4		
授業概要	<p>本授業は講義、演習、実践形式で行う。学生中心の参加型形式で行い、講師は目的達成のためのFacilitatorとしての役を務める。講義では異文化コミュニケーションに関するキーワードやシチュエーションを紹介し学生の理解、知識を深める。演習ではディスカッション、ワークショップ、学生の発表を行う。質疑応答、意見交換、学生自らの体験談を通し異文化コミュニケーションを様々な角度から考察する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化理解のみならず、自らの文化に気づき多様な価値観を認める心的素地を形成することができる。 2. 文化背景、価値観の異なる人々とより良い人間関係を築くための対話力、対応力を身につけることができる。 3. 異文化コミュニケーションに関する基本的な語彙、理論ができる。 4. 学んだ知識を実際に毎日の生活の中で活用できるようになる。 				
授業計画	回	授業内容		授業外学習（内容と時間）	
	1	8章 差別を考える 続		復習	60分
	2	9章 世界の価値観		復習	60分
	3	9章 続		復習	60分
	4	10章 異文化トレーニング		復習	60分
	5	11章 異文化受容のプロセス		復習	60分
	6	トレーニング演習		復習	60分
	7	12章 自分を知る		復習	60分
	8	12章 自分を知る 続		復習	60分
	9	Catch up		復習	60分
	10	13章 非言語コミュニケーション		復習	60分
	11	14章 アサーティブ・コミュニケーション		復習	60分
	12	15章 多文化共生社会の実現に向けて		復習	60分
	13	発表の準備		発表準備	60分
	14	グループ発表		復習	60分
	15	まとめ		復習	60分
教科書	異文化理解入門 原沢 伊都夫				
参考書	未定				
成績評価	方法	割合	備考		
	発表	10%	パワーポイント・プレゼンテーション		
	宿題・レポート	15%	提出期限は厳守すること。採点して返却。		
	筆記テスト(小テスト、期末テスト)	60%	小テストは採点し返却。期末は原則返却無し。		
	授業態度	15%	ディスカッション、ワークショップなどに積極的に参加し意見を述べたり質問をしたりする。居眠り、おしゃべりをしない。携帯で遊ばない。他		
履修上の注意	<p>本授業は受講生が主体となる学習スタイルをとります。したがって授業に積極的に参加し、発言することが求められます。ディスカッション、グループワークを通してお互いの力を最大限に引き出せるように心がけてください。教科書を必ず購入する事。教科書がない学生は減点となります。留学生に関しては原則日本語検定2級以上又はそれに相当する実力を有する者に限ります。それ以外の学生は講師に相談する事。</p>				
実務経験との関連					
オフィスアワー			メールアドレス	未定	